

# 一人はみんなのために、 みんなは一人のために

これは世界の協同組合の合い言葉。

大学入学時に「大学生協」に、加入した方もいらっしゃると思いますが、生協というのは略語で、正式名称は「消費生活**協同組合**」といいます。

生協、農協、信用金庫、労働金庫など、街の中の看板などで見かけることもあるかと思いますが、【日本の協同組合数】は約 3,500、【日本の協同組合員数】は延べ 6000 万~8000 万人と言われ、まさにあなたの生活の「身近な存在」です。

協同組合とは、同じ目的を持った個人や事業者が集まり、お互いに助け合う組織です。出資金を出し合い、民主的な運営のもと、ニーズに合った必要なものやサービスを利用できることはもちろんですが、自分たちの問題にとどまらず、地域を活性化し、持続可能な社会を実現するという大きな使命を持った組織でもあります。

一人ひとりの力は小さいけれども、つながって、それぞれが力を出し合うことで、くらしの安心や豊かさが広がり、喜びや笑顔が生まれていきます。

このインターンシップでの半年間の様々な取り組みを通して、次世代を担う若い世代に、「人と人とが協力し合って、助け合う大切さ」を実感してもらい、「地域の課題を、自らが解決する主体性」を身につけるきっかけにしてほしいと思っています。



## 【参加した学生の感想】

- あたたかい人たちがたくさんいる、人を大切にする組織。
- 住みやすい社会を自分たちで作りたい人や、お金よりも大切なものがあるのではないかと感じる人に薦めたいです。
- 食の安全性や福祉だけでなく信用金庫や共済、さらには再生可能エネルギーなどの様々な分野に取り組んでいることも魅力のひとつだと思います。

(2017 年度参加：法政大学 2 年)